

ふれあい

特集号
Vol.14

山梨に魅かれて
確かな未来は、
懐かしい風景の中にある

俳優 **柳生 博さん**

対談 **知事 横内 正明** × **作家 林 真理子さん**

盆地の美しい町で、おいしいワインがつくられている。
ふるさと山梨のイメージは、
今とてもいいと思います。

輝く夢に向かって
— 高校生のインターンシップ —

山梨県のトップセールスマン **横内知事**
中国観光トップセールス

やまなし歴史探訪 「時を今につなぐあの日」

ふれあい

特集号
Vol.14

平成十九年十月三十日 山梨県広聴広報課発行 〒400-0185 甲府市丸の内丁目六の二

山梨県立美術館

やまなしの施設紹介

Yamanashi
Prefectural
Museum
of
Art

深まりゆく秋に包まれながら、
ゆったりとしたときを楽しむ。

豊かな緑が広がる芸術の森公園。ロダンやヘンリ・ムーア、マイヨールなどの彫刻がさりげなく置かれた広場や小道も、秋が深まるにつれ、赤やだいたい、黄色に彩られていきます。

その中に凛とした表情でたずむ山梨県立美術館は、心地よい静寂に包まれながら、ゆったりとしたときを過ごせる場所です。

昭和53年の開館以来、「ミレーの美術館」として親しまれ、来年は開館30周年を迎えます。さまざまな作品との出会い、多くの方々との出会いを紡いできた30年。—ミレーの「種をまく人」の前で偶然出会ったことをきっかけに、一緒に新しい人生を歩み始めた—。訪れた方にはそれぞれ、忘れられない思い出や作品があるかもしれませんね。

現在開催している「県美30年の歴史 わたしを選ぶこの一点」アンケートでは、そんなあなたのお気に入りの1点を募集しています。所蔵作品約8,600点の中から1点を選び、作品への思いや作品にまつわるエピソードなどとあわせてお寄せください。

来秋、県立美術館の歴史とともに、応募の多い作品やあなたが選んだ1点も紹介できるような特別展を計画しています。

深沢幸雄展 —いのちの根源を謳う— 10月27日(土) ▶ 12月9日(日)

「深沢幸雄展—いのちの根源を謳う—」は、初期のモノクローム版画から近作までの版画作品に加え、陶器やガラス絵、書、さらには深沢が収集した中米の民族衣装など約160点を展示。モノクローム版画を中心に、深沢幸雄の創作の軌跡をたどる見応えある特別展です。



めし 1956年



ダンテ「神曲」(地獄篇)よりルチフェロ 1957年



「県美30年の歴史 わたしを選ぶこの一点」アンケート

県立美術館内に設置してある専用用紙にご記入の上、応募してください。応募期間は12月24日(月)までです。



特別展の魅力を語る学芸員

information

- >> 開館時間
午前9:30~午後5:00 (入館は午後4:30まで)
- >> 休館日
10月は休まず開館いたします。
11月5・12・19・26日
12月3・10・17・25・29・30・31日

Yamanashi Prefectural Museum of Art
山梨県立美術館

〒400-0065 甲府市真川1-4-27 Tel.055-228-3322 Fax.055-228-3324
http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/

県政だより「ふれあい」についてのご意見やご要望をお寄せください

広聴広報課 TEL:055-223-1339 FAX:055-223-1525

E-Mail:kouho@pref.yamanashi.lg.jp URL:http://www.pref.yamanashi.jp/



VOC FREE この印刷物は環境にやさしいVOC(揮発性有機化合物)成分フリーの大豆油を主体とした植物油型インキを使用して印刷しました。